

白杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名 子ども子育て課
-----------	---------------

コード	I-2-4	施策名	地域における子育て環境の充実
まちづくりの 目標	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		施策の方針 子育てしやすい環境を整える
5年後の めざす姿	保護者が安心して子育てができ、また、子どもが将来に夢や希望を持って自立して社会人へと育つために、きめ細かな相談や支援が受けられる子育て環境の充実を図ります。特別な支援を必要とする子どもや保護者に対する支援を強化し、ケースに応じた迅速な対応ができる体制づくりをめざします。		
施策の課題	子ども・子育て総合支援センター「ちあぼーと」を中心に子育て支援の充実に取り組んでおり、施策の拡充や相談支援体制の強化を図っています。令和2年度からの「第2期子ども子育て支援事業計画」の策定に伴い、この計画に基づく様々な事業を積極的に推進していく必要があります。また、児童虐待やヤングケアラーなど支援を必要とする家庭への支援について、きめ細かに寄り添い、継続的な支援を関係機関と連携して取り組むことが必要不可欠です。また、国の「こども家庭庁」創設に伴い、こどもまんなか社会の実現に向け、更に子育て施策の充実が求められます。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	ちあぼーとにおける相談件数	子育て支援コーディネーター及び保育士が相談対応した年間件数	目標	件	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績		2,316	2,295	1,619	832	1,104	
			達成率	%		114.8%	81.0%	41.6%	55.2%	
	子育て支援拠点の就学前児童の年間利用者数	子育て支援拠点からの活動報告	目標	人	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500
			実績		8,283	7,653	7,412	8,343	12,106	
			達成率	%		52.8%	51.1%	57.5%	83.5%	
	ファミリーサポートセンター事業提供会員数【累計】	提供会員数(人)	目標	人	22	24	26	28	30	
			実績		24	23	23	20	29	
			達成率	%		104.5%	95.8%	76.9%	103.6%	
	白杵市版母子手帳アプリ「ちあほっと」の登録数【累計】	「ちあほっと」の登録数(アプリをダウンロードした人の数)の累計	目標	人	450	500	550	600	650	
			実績		396	491	563	630	772	
			達成率	%		109.1%	112.6%	114.5%	128.7%	
	保育所等の就園率	各年度の2月1日時点における3歳~5歳の保育所、認定こども園、幼稚園への就園児数÷3~5歳児数	目標	%	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0
			実績		98.6	98.1	97.9	98.6	99.7	
			達成率	%		99.1%	98.9%	99.6%	100.7%	
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の 進捗状況	傾向	指標の分析	相談訪問人数は、コロナの5類以降、ちあぼーとの来所者数の増加にあわせて、きめ細かな相談体制により増加しています。子育て支援拠点も、コロナの5類以降は、各拠点施設において感染症対策を固りながら、行事を実施した結果、利用者数が増加しています。ファミサポの提供会員は今年度養成講座募集の新聞記事の効果もあり、新規会員が増えました。「ちあほっと」は、きめ細かな情報発信に努めます。保育所等の就園率は、各園の保育体制や環境が充実しており、3~5歳が就園率が高い水準で推移しています。							
		指標達成に向け今後の流れ	指標は達成できており、安心して出産・子育てができるように、継続して子育て支援の充実に取り組めます。							

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	満足度
向上領域	2.66	2.14	2.30
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度 81.01%	
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	向上領域	向上領域	向上領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	病児・病後児保育事業	保護者が、子どもを見られないとき預かります	子ども子育て課	17,034	21,078	有	順調	向上	大	○
2	子育て支援拠点事業	子育て親子の交流や相談支援を行う子育て支援拠点事業を市内4カ所に委託します	子ども子育て課	39,294	40,356	有	順調	向上	大	
3	子ども子育て総合支援センター運営費	子ども子育て総合支援センターの運営経費	子ども子育て課	3,537	3,102	有	順調	向上	大	○
4	出生祝品贈呈事業	出生祝い品として、商品券2万円分を贈呈	子ども子育て課	3,040	2,980	有	順調	強化	中	○
5	公立保育所指定管理委託事業	下南こども園の管理・運営に伴う指定管理業務	子ども子育て課	94,162	105,984	有	順調	向上	大	○
6										
7										
8										
9										
10										
合計				157,067	173,500	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

国の「こども未来戦略」に基づく支援の実施および少子高齢化や児童虐待、ヤングケアラー、貧困などが社会問題としてあるため、市として「妊娠期からずっと見えてもらえる安心感・幸福感」をキーワードに子育て支援の充実・強化のため、施策や事業に取り組む必要があります。ヤングケアラーへの支援は、今年度、市独自で小学5年生から高校生までを対象に実態調査を行い、その結果、ヤングケアラーと疑われる児童生徒が複数人いたため、早期に支援できるように体制や仕組みが必要です。

施策の評価（今後の施策の方向性）

- 評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る  
○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	R6年4月から児童福祉法の改正による「こども家庭センター」を設置し、児童福祉と母子保健の連携を更に強化し、妊娠期からの切れ目のない支援を行う必要があります。来年度は、「こども未来戦略」による児童手当や児童扶養手当の拡充に加え、支援が必要な家庭や児童に対する訪問支援の充実や病児保育の送迎支援、子どもの居場所づくり支援、保育の「こども誰でも通園制度」的実施、育児休業認定要件の拡充など、よりきめ細かな支援に取り組めます。